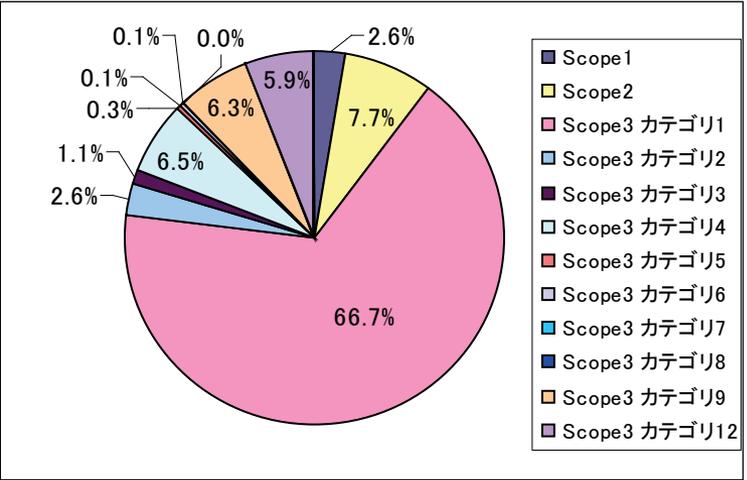


	各社の考え方
□ 算定を行う背景・目的	<ul style="list-style-type: none">● 個々の製品については、ライフサイクル全体のCO2排出量の表示のために、サプライチェーンより自社工程におけるCO2排出量の把握を求められており、当社では迅速かつ簡便に算定が行えるよう、社内体制を確立してきた。● Scope3の算定を行い、どのカテゴリで排出量が多いかを把握することで、効果的に排出量の削減に取り組む。
□ 算定結果の活用方法	<ul style="list-style-type: none">● 自社のCO2排出量削減の取組みを経年で評価する。● 様々なサプライチェーンでの算定に対して、事業領域ごとの算定値対応を進めることにより、より有効なデータを提供できる。
□ 算定のメリット	<ul style="list-style-type: none">● CO2排出量割合の高いカテゴリが可視化できることで、削減施策の優先度を判断する目安となる。● 実施施策の効果を、より定量的に把握した上で、その施策を全社に展開できる。
□ 社内の算定体制	<ul style="list-style-type: none">● 本社の環境部門が全体を集計している。● 環境部門で把握できないデータに関しては、財務部門、人事労政部門の協力を得ている。

各社の考え方	
□ サプライチェーン排出量の削減に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境配慮型製品の開発・販売と生産活動に伴う環境負荷をそれぞれ把握し、各製品のライフサイクルと生産工程に応じた環境負荷の低減に取り組む。 ● 包装形態、方法の見直しによるサプライチェーン上の輸送に関わる部分の削減に取り組む。
□ サプライチェーン排出量算定の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 耐久消費財の中間財から非耐久消費財の最終製品まで、多様なライフサイクルステージを構成する製品群を扱っていることから、下流側の算定精度を上げることが困難である。 ● CO2排出量を網羅的に算定すればするほど、CO2排出量が大きくなる。また、算定に使用する活動量の範囲やシナリオ、原単位が異なると、算定結果が大きく異なる。よって、CO2排出量の他社比較はできないにも関わらず、取引先選別に用いられる恐れがある。
□ これからサプライチェーン排出量を算定する方へ	<ul style="list-style-type: none"> ● まずは、手持ちのデータで、どのカテゴリの比重が大きいかを把握し、次に、そのカテゴリのCO2排出量の網羅性を上げていくのが良いと思われる。 ● 環境部門だけで全てを網羅することは不可能であるため、算定するにあたり、関係部門への説明と協力が必要となる。算定しやすい体制の整備をするのが良いと思われる。



カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	<ul style="list-style-type: none"> ● 資材の購入(重量) ● 製品の外部委託分 	<ul style="list-style-type: none"> ● CFP-DB
カテゴリ2「資本財」	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業領域ごとの設備投資金額 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境省DB*
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	<ul style="list-style-type: none"> ● 電力・蒸気の使用量 ● 燃料の使用量 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境省DB* ● CFP-DB
カテゴリ4「輸送、配送(上流)」	<ul style="list-style-type: none"> ● 省エネ法特定荷主範囲における排出量報告値 ● 調達物流の推定輸送トンキロ 	<ul style="list-style-type: none"> ● CFP-DB
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物種類別の排出量 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境省DB*
カテゴリ6「出張」	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動手段別の出張旅費 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境省DB*
カテゴリ7「雇用者の通勤」	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期代あるいはガソリン代 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境省DB*
カテゴリ8「リース資産(上流)」	<ul style="list-style-type: none"> ● テナントの電力およびガス使用量 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電気事業者別排出係数
カテゴリ9「輸送、配送(下流)」	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品別推定輸送トンキロ 	<ul style="list-style-type: none"> ● CFP-DB
カテゴリ10「販売した製品の加工」	<ul style="list-style-type: none"> ● 当社製品が多岐に渡り、適用可能なシナリオ・原単位が無いため、算定から除外 	
カテゴリ11「販売した製品の使用」	<ul style="list-style-type: none"> ● 非該当 	
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品別廃棄量推計 	<ul style="list-style-type: none"> ● CFP-DB
カテゴリ13「リース資産(下流)」	<ul style="list-style-type: none"> ● 非該当 	
カテゴリ14「フランチャイズ」	<ul style="list-style-type: none"> ● 非該当 	
カテゴリ15「投資」	<ul style="list-style-type: none"> ● 算定から除外 	

*環境省DB: サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース(ver.2.0)